

同じ学びを提供しているにもかかわらず、
学びを成果に繋げられる人と
繋げられない人がなぜ出てしまうのか？
提供している講師たちにとって、
あたりまえ過ぎて見過ごしている根本原因とは？

お手紙を開いていただき、ありがとうございます。
すごい自己紹介の著者、横川 裕之です。

このお手紙を読まれるということは、
ボクのことをもともとご存知か、どなたかから
「読んだらいいよ！」と紹介を受けているはずなので、
ここでは自己紹介は省きます。

もし、万が一、横川って誰よ？という場合は、
このお手紙を読むタイミングではないので、
貴重なお時間を無駄にしないためにも、
読まないことをオススメします。

このお手紙のテーマは、
同じ学びを提供しているにもかかわらず、
成果を出す人と出せない人がなぜ出てくるのか？

提供している講師たちにとって、
あたりまえ過ぎて見過ごしている根本原因です。

根拠は、ボク自身の経験や、受講料 60 万円の通信講座、
【文字化力強化合宿】の参加メンバーとの
日々のやり取りから得られた経験から書いています。

これからお伝えすることを読むだけで、

あなたの視点は大幅に広がり、
今後の学び方やライフスタイル、
人生観が劇的に好転します。

そんなキッカケになるようにと、
思いを込めてお伝えしていきますので、
どうぞ最後まで、お付き合いいただけたら嬉しいです。

とはいえ…残念ながらこれを読んだからといって、
すぐに稼げるとか、すぐに人生が好転する
といった耳障りのいい話はまったくありません。

仮に「すぐに」できたとしても、
それはドーピングで筋肉増量しているようなもので、
自分の実力ではまったくありませんし、
ドーピングの反動で人生は暗転するに決まっています。

いやいや、ドーピングを手に入れられる
人脈やお金を持っていることも実力だよ、
と言われたら、確かにその通りで、何も言い返せませんが、
そんな人に読んでいただいてもな～んの学びもありません。

また、即効性がないなら読む価値はないな、と思われる方も、
遠慮なく閉じてくださいませ。

逆に、「同じ学びを受けたのに、成果を出せる人と出せない人の違い」という、
一見地味なこのテーマがいかに重要であるか、
それに気がついた“時代を先読みできる”センスのある方は

ぜひ読んでみてください。

では、早速本題に入ります。

**学歴が低い、頭の悪い自分でもできたんだから、
誰でもできる！！と講師は言うけれど…。**

このお手紙にたどり着き、読んで下さろうとしているあなたですから、あなたはすでに相当な金額を自分に投資されている方でしょうし、もしくは、これから自分に投資しようと考えている方でしょう。

なので、ここで改めて自己投資の重要性を語ることはしません。

しかし、自分の価値を高めるはずの自己投資が、自分の価値を低くしてしまう【事故投資】になっている人が多いのも事実です。

ダメな自分を変えたい！

そう思って清水の舞台から飛び降りる気持ちで高額セミナーや講座、コンサルティングなどに投資したのに、結果を出すことができずに、結果を出せない自分を責めて、自分はやっぱりダメなんだ…と、ますます自分自身を卑下してしまう、そんな悲劇が起っています。

提供側は、

「こんな頭が悪い自分でも…」

「バカばかりやっていた自分でも…」

「高卒の自分でも…」 「中卒の自分でも…」

「成績万年ビリの自分でも…」

と、学校の成績や頭が悪かった自分ができたんだから、
「本気になれば誰にでもできる」と言うことがあります。

こう言っている講師は、実際に本気で

「自分は頭が悪い」

と、思っているのですが、

その講師が自分を低く評価しているだけで、

実際は、誰でもできるものではなかったりします。

さらに講師は

「頭の悪い自分ができたことなんだから誰にでもできる」

「行動すれば結果が出ないわけがない」

と思っているので、

「結果が出ないのは、

受講生が本気で行動していないからだ！」

と、結果が出ない責任を受講生に押し付けます。

こう言われてしまったら、

結果が出ない受講生は何も言えません。

お金を支払ったときには尊敬の気持ちで一杯だった状態が、

結果が出せないことに申し訳なく思い、苦しくなり、

最後には気持ちが離れていってしまい、

残るのは、やっぱり自分はダメだった…という劣等感。

まさに【事故】です。

学歴は人生やビジネスの成果には関係ありません。

人生やビジネスにおいて
頭がバカだったからとか、
学生時代の成績が悪かったからとか、
学歴が低かったからとか、
そんなの関係ありません。

納税額日本一にもなり、何十冊も本を出している
齋藤一人さんは中卒、パナソニックの創業者、
松下幸之助さんに至っては、小学校中退です。

何度も言いますが、子どもの頃の学歴は
人生やビジネスには関係ありません。

「頭の悪い自分でもできる…」の言葉は、
提供側が自分のことを
低く打ち出すことによって、
見込み客に安心感を与えるための
テクニックでしかありません。

答えが決まっている学校の勉強では、
学歴や成績の良さが結果のすべてです。

でも、答えのない人生やビジネスにおいては、
学歴や成績が良かったとしても、

それが必ずしも結果に繋がるわけじゃないのです。

ボク自身もそうでしたが、下手に学歴があると、その学歴がネックとなって、動けなくなることもしばしばあります。

動けなくなったら、そりゃ結果が出るわけありません。

「これまでに何百万円も自己投資しているのに、
誰でもできる…と言っていた
プログラムにも参加しましたが、それもダメで
いつまで経ってもダメな自分のままなんです…」

って、メールを送って下さる方もいらっしゃいますが、
そもそも、世の中にいるほとんどの人は
自己投資なんてしないんです。

1万円を超えるセミナーや講座に
参加したことがある人が、どれだけいるのか？

アンケートを取ったら、10人中9人は、
そんなセミナーに投資するくらいなら、
美味しいものを食べに使ったり、
自分の欲しいものを買ったりすることに
使うと答えるでしょう。

人は、いちばん価値があると思うものにお金を使います。

自己投資ができる人というのは、
自分自身が一番価値あるものだと思っている人です。

その自分自身に数百万円も投資できていること自体が、素晴らしいことなのですが、それを認めることができない。

そりゃそうですよね。

自分を変えるために自己投資しているのに、まったく変わっていないんですから、そんな自分を認めようと思っても認められるものじゃありません。

行動しなければ変わらない、これは事実です。行動しなければ変わるわけがありません。

じゃあ、この結果を出せなかった人たちは、本当に行動していなかったのでしょうか??

いいえ、そんなことはありません。みんな行動しているんです。

では、提供している講師のコンテンツの質が悪いのでしょうか??

これだって、そんなことはありません。

講師ご自身が、自分の人生を賭けて結果を出したことを元に開発したコンテンツなんですから、質は高いはずですよ。

そして、そのコンテンツによって、

実際に人生を変えた人もたくさんいるのだと思います。

自己投資している人は、みんな現状を変えたくて、
自己投資をしているわけです。

変わりたくない人なんていないんです。
でも、変われなくて苦しんでいる人がほとんどなんです。

じゃあ、自己投資で人生が変わる人と
変わらない人、学びを成果に繋がられる人と、
繋がられない人と、何が違うのでしょうか??

その理由を次にお話していきます。

ボク自身も結果を出せない人間でした…。

少し、ボク自身のことを告白させてください。

正直、ボク自身も変わらない人でした。

同じ学びをしているにもかかわらず、
大きな結果を出す人を羨ましく思う一方で、
「なぜ結果が出せないのか」を自問自答している日々…。

講師に聞いても、
「行動が足りないだけだ」
「結果が出るまで行動し続けることだ」

と、言われてそういうものなんだと、
自分自身を納得させていました。

でも、教えてくれたことを愚直に実践しているのに、
なかなか結果に繋がらない…。変わらない…。

あまりに結果が出ないので、
その原因を相談しようと講師に
コンサルの面談をお願いするものの、
前日に相談内容を送ると、

「この相談内容じゃ話してもこっちの時間が
もったいないから、明日はキャンセルで」

というのが、何度も続きました。

いま思うと、その講師はどんなに時間がかかってでも、
ボク自身に原因を見つけさせようとしていたのかもしれませんが、
当時の未熟なボクはそんな風にはまったく思えず、
その講師から離れる決断をしました。

と、ここで質問です。

なぜボクは、行動していたのにもかかわらず、
結果が出ない、変わらない人だったのでしょうか？？

行動が足りなかったから。

確かにそうかもしれませんが、
もっと決定的な理由があったのです。

この時点で気付かれているのであれば、
相当結果を出されているし、人を動かすスキルもお持ちで
関わる方々にも相当な結果を出させている方でしょう。

もし、自分では結果を出しているんだけど、
その結果を出した方法を教えた人たちの
結果につながっていないというのであれば、
この理由に気付かれていないからです。

ここから先は、ぜひご自身の答えを持って
読んでみてください。

自己投資をして結果が出る人、結果が出ない人 その根本にあるたったひとつの違い

結果が出ない原因に気付くことができたのは、
2012年に受講した遠藤晃さんと和仁達也さんが共催している
【コンサルスター養成塾1期】でのことでした。

この養成塾、受講料は35万円ですが、
2016年7月時点で東京開催が10期、
大阪でも6期、計16期開催されている人気講座です。

この養成塾で、ボクが気づいたこと、それが

【言葉の使い方】

です。

もちろん、前向きな言葉、ポジティブな言葉を積極的に使っていこう、そんなことは知っていましたし、やっているつもりでした。

しかし、実際には、その言葉の使い方がまったくできていなかったことに「安心・安全・ポジティブな場を作ろう」というお話を聞いているときに気づいたのです。

安心・安全・ポジティブな場とは、その場にいる人の考えを一切否定することなく、とにかく肯定していく場のことです。

この頃には、すでに筆文字も発信していましたから、他人に対して使っている言葉については、どんどん前向き、ポジティブな言葉を使っていました。

しかし、この【場作り】の話を聞いた時、ふと思ったのです。

「自分自身に対しては、どうだったかな??」と。

他人に対しては前向きで、ポジティブな言葉を使っているのに、それとはまったく逆で、ネガティブな言葉ばかり使って、自分自身に問いかけをしていたのです。

人の脳は、スーパーコンピューターと言われます。

その問いかけに対して、答えが出るまで、永遠に探し続けるのです。

ボクの告白の冒頭部分に

こう書いた一文があったのですが、気に留めてもらえたでしょうか？

> 「なぜ結果が出せないのか」を自問自答している日々…。

**この否定の質問に対して出てくる回答は、
すべて自分を否定するものでしかないわけです。**

こんな否定的な問いかけをずっとしていたことにより、ようやく気付くことができたのです。

これに気付くと、実は問いかけだけでなく、頭の中に思い浮かんでいる言葉のほとんどが、否定的なものばかりであることに気付きました。

「なんでうまくいかないんだろう…」

「どうしていつもこうなんだろう…」

「今回もううまくいかないかもしれないな…」

そう、ボクは

無意識のうちに自分で自分を否定していたわけです。

結果が出る人と出ない人の決定的な違い、それは、無意識の言葉の使い方、

もっと具体的に言うなら、

無意識に自分を肯定する言葉を使っているのか

無意識に自分を否定する言葉を使っているのか

その違いです。

講師が結果の出ると言っている学びをしていたとしても、
無意識にその学びをしている自分を否定してるんだから、
結果が出るわけがありません。

人に対して、安心・安全・ポジティブな場を作る以前に、
まずは、自分自身に対して、その場を作らなきゃいけない、
そのことに気づいていなかったのです。

自分自身に対して安心・安全・ポジティブになれないのに、
他人に対して、そんな場を提供できるはずもありません。

ボク自身、そういう安心・安全・ポジティブな場を
作っていたつもりでも、きっと、相手にとっては
そんな風には思わなかったでしょう。

安心・安全・ポジティブとは真反対の
不安・危険・ネガティブな場を
作って接していたのです。

そんな状況で、ボクの話の聞いたり、
ボクからセールスを受けたとしても、
そりゃ、相手は不安になるわけです。

不安になるから、契約もしてくれる人も少なかったわけです。
(当時、そんなボクと契約して下さった方々もいて、
その方々には、感謝の気持ちしかありません)

無意識の言葉使いを知るためにボクがやったこと

「現状を変えるためには、無意識に使っている言葉使いを変える必要があるけれど、どうしたらいいんだろう…」

と、いろいろと思案しましたが、結局ひとつのところに落ち着きました。

それは「頭の中身を書き出すこと」。

そう、**思考の文字化**です。

まずは当時つけていた手帳に、その日の出来事だったり、感情だったりを書きつづけていきました。

自分が読めればいいわけですから、文体などまったく気にしません。

この時に意識したのが、【文字量】です。

明確な思考は明確な行動を生み、明確な行動は明確な結果を生む。
曖昧な思考は曖昧な行動を生み、曖昧な行動は曖昧な結果を生む。

文字量の重要性は、遠藤晃さんから教えてもらったこの言葉で十分に知っていました。

しかし、この時にボクが考えたのは、

文字量に意識を100%向けることによって、どんな言葉を使うのか、その言葉選びに意識を向けないことでした。

言葉選びに意識を向けないことで、
紙上に現れた言葉のほとんどは、
無意識に出された言葉になります。

その言葉を精査することによって、
無意識にどんな言葉使いをしているのかが、
把握できると考えたのです。

(実際、その当時にどんなことを書いていたのか、
現物をシェアしようと思って探したのですが、
その記録を大掃除の際、スペース確保のために
処分してしまっていました…)

その書いたものを読み返していくことによって、
ネガティブな問いかけになる要素を
5つにまとめることができました。

この5つの要素を意識することによって、
段々と無意識の部分にも浸透していきます。

いまでは、自らに対してネガティブな
問いかけをすることがなくなりましたし、
油断していても、ハッ！とすぐに気づき、

「いまのは、なし！」と即座にキャンセルできます。

この5つの基準は、ボクが文章添削をする際の
指摘の基準となっているものです。

1. 語尾が否定形の質問を投げかけている
2. 語尾が「~だと思ふ」と曖昧に濁している
3. 語尾が「なったらいいな~」と、自分以外に責任を委ねている
4. 頑張ろう、やってみようとだけ書いてあって、
何を頑張るのか、何をやるのかを具体的に書いてない
5. 無理、ダメ、どうせなど、ネガティブな単語を使っている

この5つさえ注意すれば、自分自身に投げかける言葉の質、無意識に自分に投げかけている言葉がポジティブなものに変わっていきます。

それぞれを説明していきます。

1. 語尾が否定形で終わっている。

繰り返しになりますが、「なぜ結果を出せないのか？」という、語尾が否定形の質問を投げかけると、自分自身の脳は、自分自身をダメ出しする理由を探し始めます。

ボクがこれまで関わってきた結果の出ない人、人生が変わらない人の多くは、実は、自己責任感が強い方々ばかりです。

その自己責任感が強いがゆえに、結果が出ないことを自分の責任と考え、「何がダメなのか??」と、自分自身に否定的な質問を投げかけるのです。

また、「何がダメなのか??」という問いかけは、

【過去】に視点が向いています。

一方で、結果を出す人は、うまくいなくても、その原因に焦点を置くことはしません。

「何がダメなのか??」とは考えず、
「どうしたらうまくいくのか??」と、
【未来】に視点が向いているのです。

否定形の投げかけになっていないか、
そして、過去に視点が向いていないか、
ここを確認してみてください。

2. 語尾が「～だと思ふ」と曖昧に濁している

これは無意識にやってしまっていることが多いです。

自分の主張に自信がないときに、
蛇足で「～だと思ふ」と、足しちゃうんですね。
だから、語尾が「思ふ」で終わったら、
それは自信がない、ということを
自分に言い聞かせていることになります。

また、セミナーや講演会で、
「今日、学んだことをどんな風に活かしていきますか？」
と、質問されることがよくあります。

ボクもアンケートで書いていただいているのですが、
「～しようと思います」と、書かれている方を追いかけてみると、
例外なく、その後行動していません。

思っただけで、「やる」と決めていないのです。

「思っているんです。でも、忙しくて…」
と、現実の忙しさを選択されるのです。

人生を変えたい！と口に出して言っている、
こういう無意識に出している言葉や行動によって、
本心は変わりたくないと思っていて、
その変わりたくないという本心に従っている、

というのがわかるのです。

人生を変える！と決めているのであれば、
語尾に「思う」を使うことをやめましょう。

ところで、子どもの頃に、テレビを見ていたり、
ゲームをしていたりなど、
自分の好きなことをやっていたときに、
親御さんからこんなことを言われたご経験はないですか？？

「テレビなんて見ていないで、早く宿題しなさい！」
「ゲームなんてしていないで、早く勉強しなさい！」

こんな小言を言われたときに、
ボクはこんな風に反論していました。

「これからやろうと思っていたのに！！」

この反論はボクだけじゃないはずです（笑）

本当にやろうと思っていたなら、
親に指摘される前にやっているはずです。

にもかかわらず、指摘されたことにイライラし、
自分を正当化させるために
「これからやろうと思っていたのに！！」
と、反論の形で嘘をつく。

こういう小さな嘘を積み重ねることによって、
自分自身から自信を奪ってしまっているのも、
結果に繋がらない要因のひとつです。

3. 語尾が「なったらいいな～」と、自分以外に責任を委ねている

人事を尽くして天命を待つ、という言葉があります。

自分にできることをすべてやり尽くした上で、
結果を待つというのであればいいんです。

しかし、多くの場合は、自分にできることもやらずに、
「こうなったらいいのにな～」
と、自分の望む結果がやってくることを期待しています。

もし、引き寄せの法則があるのだとしたら、
その【望む結果にふさわしい自分になる】必要があります。

逆を言うと、望む結果が訪れていないのであれば、
それは、その望む結果を引き寄せられる自分になっていない、
というわけです。

「なったらいいな～」というのは、
いまの自分では望む結果を得られない、というのを

暗に自分自身に言い聞かせているのと同じですからね。

そりゃ、結果が出るわけがないのですが、
ボクは無意識にやっちゃっていたんです。

望む結果を引き寄せるにふさわしい自分になるため、
できることに全力を尽くす、と、
この瞬間に決めちゃって下さい。

4. 頑張ろう、やってみようとだけ書いてあって、 何を頑張るのか、何をやるのかを具体的に書いてない

「頑張ります！」と笑顔で言い切られたら、
「この人はやるんだらうな??」と思われるかもしれませんが、
こういう人も行動しません。

なぜなら、何を頑張るのかを具体的に決めてないからです。

「100人に電話掛けするところから頑張っていきます」
こうやって「何を」頑張るのかを具体的に言える人は、
即座に行動に移せますが、ただの「頑張る」というひと言には、
な〜んの具体性もありません。

頑張るといふ、この言葉の裏には、

「解決方法を具体的に考えるのが面倒くさい」

という心理が働いている場合が多いのです。

上司など上の立場の人に詰められたとき、

「次は頑張ります」

と言って、その場を逃げたことはありませんか??

結果を出させる上司は、ちゃんと

「何を頑張るんだ？」って、突っ込んでくれますが、
結果を出させることのできない上司は、
その「頑張ります」に安心して、その場を終了させます。

ただ「頑張る」だけではダメで、何に頑張るのか、
必ず、そこを具体的にするようにしましょう。

5. 無理、ダメ、どうせなど、ネガティブな単語を使っている

こうしたネガティブな単語は、他人に対しては使わなくても、
自分に対して使っていることが非常に多いものです。

書き出してみるとわかりますが、ビックリするくらい、
自分自身に対して、ダメ押ししていますからね。

居酒屋に行ったら、自分の会話を録音してみてください。

ビックリするくらい、ネガティブな言葉ばかりが、
そこには記録されているでしょう。

(なぜネガティブな言葉になってしまうのかは、
場のエネルギーというものもあるんですが、
本題とは逸れるので、またどこかでお話します)

ネガティブな言葉は、自分からエネルギーを奪います。

と、同時に厄介なことに、ネガティブな言葉を
言っているときは気分が良かったりするのです。

悪口や愚痴で盛り上がった時、
なぜだか高揚感みたいなものを感じ、
メチャクチャ楽しいんですが、
いざひとりになったら、グッタリ…
という経験はないですか??

愚痴や不満でエネルギーを使ってしまっているから、
人生を変えるための行動を起こすエネルギーが
残っていないのです。

自分自身のダメな部分を書き出している時も、
同じような高揚感が湧いてくることがあります。

「こんな自分を厳しく見れる自分ってすごい」
って、どこかで悦に入っているんです。

で、自分を厳しく見られる自分でいたいために、
自分のダメな部分を直さない、という選択を
無意識にしてしまっているんです。

そりゃ、結果は出ませんよね。

むしろ、結果を出されると、
自分にダメ出しするという
悦に入る時間を失ってしまうので、
行動していたとしても、
無意識のうちに、行動をやめちゃうんです。

で、行動をやめた自分を責めることで、
また悦に入る…。

悦になんか入ってません！

と、反発されるとは思いますが、
そこを認めないことには、結果の出る自分には
変わらないのです。

…以上、5つの視点を書いてみました。

この5つに気付くようになると、
自分自身に無意識に投げかけている言葉が変わり、
自分自身に対して、安心・安全・ポジティブな場を
作ることができ、自分自身を否定することがなくなります。

逆に、これができないと、どんなに高額な学びや、
どんなにすごい先生と巡り合ったとしても、
「変わったつもりにはなれる」けれども、
自己投資をする前の自分となんら変わっていないのです。

一旦、ここまでをまとめます。

ここまでのまとめ

- ・ 自己投資をして変わる人と変わらない人の差、
それは【無意識の言葉の使い方】にある
- ・ 前者は自分に対して、無意識にポジティブな言葉を投げかけている
一方で、後者は無意識にネガティブな言葉を投げかけている
- ・ その結果、自分自身に【安心・安全・ポジティブな場】を
提供できておらず、無意識に自分自身を否定している
- ・ 無意識に自分にネガティブな言葉を投げかける
【5つの要素】に気づき、改善すれば、
自分自身に【安心・安全・ポジティブな場】を提供できる

無意識の言葉使いを変えて、
【安心・安全・ポジティブな場】を
自分自身に提供する

いい言葉を使えば、人生は変わる。
これは事実です。

けれども、意識して「いい言葉」を使っているとしても、
無意識に使っている言葉が「いい言葉」でなければ、
結局は、自分自身を否定することになって、
人生は変わらないということをお伝えしました。

じゃあ、無意識に使っている言葉を変えるためには、
どうしたらいいのかというと、

無意識の言葉の使い方を変えるために、
意識して「いい言葉」を使うことです。

「無意識の言葉の使い方を変えるために」
というのがポイントです。

無意識の言葉の使い方、というのは、
言葉の癖、思考の癖のこと。

そして、癖とはつまり習慣です。

習慣を直すには、現状の習慣を把握し、
新しい習慣を上書きしていけばいいのです。

その把握の方法が、
【思考の文字化】だということを
先ほどお伝えしました。

自分で音声を録って確認する
というやり方でもいいのですが、
確認する過程で文字に落とすので
やることは同じです。

書いたものを確認し、
先ほど挙げた5つの要素がどれだけ入っているか、
まずはそれを確認していきます。

慣れてくると、書いているうちに

「あっ、この言葉は、この表現は
5つの要素に当てはまっているから、
違う表現に変えよう」

と、気付けるようになります。

気付けるようになったときには、
無意識の言葉の使い方も変わっているのです。

変わっていなかったら、気づけませんからね。

その無意識の言葉使いがポジティブなものになると、
自分自身に対して、「変わっていいんだよ」という
【安心・安全・ポジティブな場】の提供が
結果としてできるようになっています。

そして、自分自身に変わっていいんだよ、
という許可を無意識に出せるようにならないと、
どんな学びも人生を変えてくれることに繋がりません。

1日2日やったくらいでは当然変わりませんが、
その1日2日を積み重ねて、
3ヶ月も経つうちに確実に変わってきます。

やり方はカンタンです

やり方はカンタンです。

ボクがやったような日記を書くことでもいいですし、
書店で売られている質問本をやっていくのもいいでしょう。

文字量を意識して毎日書いて、その書いた文章を読み、
先ほどの5つの項目に照らしあわせて、思考の癖、言葉の癖を
確認するところから始めたらいいです。

もし、ひとりではできない、ということであれば、
ボクが提供している【文字化力強化合宿】を活用して下さい。

文字化力強化合宿の詳細はこちらです

⇒ <http://pmlifect.com/mojika.pdf>

(こちらのPDFはボクがダメリーマンだった頃から
いまに至るまでを赤裸々に綴っております)

ここから先は文字化力強化合宿を受けたら
どう変化できるのかについて書いていきますので、
「自分でできるよ！」というのであれば、
どうぞ閉じてくださいませ。

ここまで読んでいただき、
ありがとうございました。

もし、

- ・ ひとりでやるのには不安がある…
- ・ 指導する相手に対してどうやっていけばいいのか…
- ・ どんな変化が起きるのか興味がある

どれかに当てはまるのであれば、ぜひ読み進めてみてください。

読み進めて下さった時間以上の対価をお約束します。

合宿が進んでいくにつれて
「ああ！こういうことか！」
とすべての不安は解決しました。

このページを開いて下さったということは、
続けて読んで下さるということですね。

ありがとうございます。

文字化力強化合宿では、
1日1題15分を90日続けて書き、
ボクや同期の仲間からのコメントによって、
あなたが持っている思考の癖、言葉の癖に気づき、

あなたがご自身を変えていくことに
自然と許可ができています。

また、親・上司・教師・コーチ・コンサルなど
指導者の立場にある人が、
ボクがどのようにコメントをしていくかを
体感することによって、指導する相手を
結果の出せる人へと導くことができるようになります。

広島で一番大きな弁護士事務所の秘書リーダーとして
働かれている4歳になる娘さんを持つ
今井絵美さんのご感想です。

== ここから ==

実際に合宿が始まり毎日出される
お題に対する回答を15分で作成する、
という日々が始まりました。

**これまで自分の文章に自信のない人間が、
15分で書ける文章は本当に見返すのも
恥ずかしいものでした。**

横川さんは内容についてのフィードバックはもちろんのこと、
細かい語尾や誤字脱字についても鋭くつっこんでくれます。

「～思いました」とか書くと
「思ってるだけですか？」
と突っ込まれます（笑）

自分の思考を整理したい

明確に文字化したい

その結果、大きな価値を提供できる人間に変わりたい
と思って文字化に参加しているのに、
語尾とか細かい誤字脱字の指摘に何の意味があるのか、
と思うこともありました。

またお題についても、このお題について考えることが
一体なんの意味があるのだろうか？

本当に私は変われるのか？
と不安に思うこともありました。

自分にとって高額投資をしている分、
期待値が大きいので比例して不安もついてくるものです。

しかし合宿が進んでいくにつれて
「ああ！こういうことか！」
とすべての不安は解決しました。

たとえば語尾。

文字や言葉にするのは、
誰かに伝えるためにすることが多いですが、
誰にも伝えない言葉でも
確実に伝わってしまう人がいます。

それが自分です。

「曖昧な思考が曖昧な行動を生む」
「曖昧な思考では結果は生まれない」

という前提で考えると

「やろうと思います」では、
脳は「思ってるだけか」
と認識して行動につながりません。

「やります」
「やると決めました」
と言い切ることで初めて
行動につながります。

実際に合宿の中でそのことを言い切る、断定する
それを両方矯正できるのを
90日という長い期間で体感しました。

文章の癖は思考の癖なのです。

というのは言うは易しですが、
できるようになるには
絶対に訓練が必要です。

語尾をにごさないようにする訓練を積めるのは、
毎日伴走してくれるこの文字化合宿以外にはありません。

合宿の初期の頃、考えは浮かんでいるのに
なかなか文章にできない
ということに悩まされました。

頭の中にイメージはあるのにそれを言葉にすると
「そういうことじゃないんだよね」
ということばかりなのです。

最初はそれに納得が行かず15分かけて書いたものを全部消したりすることもありました。

**ところがチャレンジを続けるうちに
自分から出た言葉はすべて真実で
すべて正解、と受け止めるようになりました。**

毎日平均して1000字投稿したとして、9万文字。
原稿用紙にして、225枚分。

一冊本が書けるくらい
「今井絵美」を文字化したことになります。

見えるものは変えられます。
計れるものは改善できます。

どちらも頭の中だけでグルグル
考えているだけではできないことです。

自分の好きな部分も嫌いな部分も直視します。

自分の胸の奥にしまってきた過去の記憶も
横川さんや同期にさらけ出します。

文字化力強化合宿は決して
楽しいだけの90日間ではありません。

でも
「変わりたい」「幸せになりたい」と
強く願ってこれまでジタバタと
努力をされてきた方にとっては最高の「場」です。

一生懸命自転車をこごうとしても、
チェーンが外れていては前に進めません。

文字化力強化合宿は、私の外れたチェーンを
しっかり正しい位置につけなおしてくれるものでした。

仕事の上司や後輩とのコミュニケーションが
不思議なくらいなめらかになりました。

娘との会話のバリエーションが一気に広がり、
4歳の娘の語彙量も、急速に増えました。

思考を文字化することの威力を
次は自分の大切な人に伝えていきます。

長文読んで頂きありがとうございました。

== ここまで ==

>これまで自分の文章に自信のない人間が、
>15分で書ける文章は本当に見返すのも
>恥ずかしいものでした。

自分自身に対して、安心・安全・ポジティブな場を
提供できていなかったことを示す一文です。

「自信のない人間が」「恥ずかしいものでした」
と、無意識のうちに自分を否定していたのです。

それが続けていくうちに、

>ところがチャレンジを続けるうちに

>自分から出た言葉はすべて真実で
>すべて正解、と受け止めるようになりました。

と、自分を肯定できるように変化されたのです。

またもう一人、宮崎で脱毛サロン、Dione 都城店を
経営されている幸野百合香さんのご感想です。

== ここから ==

文字化合宿が始まる1か月前に
『日本一のランチ会』で、文字化についての話を聞きました。

自分の思考や、やりたいこと等を文字化すること。
その時は「なるほど」と思い、
それは早速実践してみようと意欲が湧いてきたのです。

私にはよくありがちですが、セミナーを受けたり本を読んだりして、
その時はやる気になっているのですが、
日が経つにつれいつもの日常を送っているという。

何かしなきゃと思いつつも、日常に流されていっている…
そんな時、文字化合宿の開催を知り
自分の文字化力が鍛えられるならと思い、参加を決めました。

それまでは、夢や目標が明確になっていなかったし、
これといって自分に自信をもっている訳でもなく、

何かやりたいことがあっても、「時間が無い」
「子供がいるから無理」「私には出来そうにない」など、
色んな出来ない理由をつけては、やる前から諦めたり、
先送りしていたりという感じでした。

合宿を終えた今では、それをどうしたら出来るようになるか、それをやる為に今出来ることは何か、閃いたことはとりあえずやってみよう、嫌なことをいかに楽しくするか、という考え方に変わっています。

時間は意識して自分でつくるようになりました。

思い描いている理想の自分がはっきりしてきたので、一歩ずつ近づいていっていると思うとモチベーションもあがります。

取り組み始めた当初は、いつもの自分に戻りそうなこともありましたが、本当に小さな行動の積み重ねで、やらないでいる事のほうに違和感をもつようになりました。

小さな一歩でも出来た自分を認めてあげること、褒めてあげることが出来るようになったからだと思います。

今までの自分にはそんなことしてあげたことなんてなかったですし、そういう発想にもなりませんでした。

また、Facebook で自分が学んだことなどを発信していると、周囲の方から、「楽しそう」「充実してるね」「頑張ってるね」というメッセージやお言葉をいただくようになりました。

子供たちは、「相手の気持ちになって考える」こと「あとちょっと頑張ってみる」ことを、よくやってくれています。

1年生の娘は、何をしたらお友達が喜んでくれるか自分なりに考えて、実践したら報告しますし、4歳の娘も1日の嬉しかった事やお友達に喜ばれた事を報告してくれます。

自分がしたことは、
いずれ自分に戻ってくるという体験もできた様です。

友達になりたい子がいれば、恥ずかしくて声がかけれなかったのを、「お友達になろう」と、思い切って一言声をかけたらお友達になってくれたと、喜んでいました。

自分が誰かに「お友達になろう」って言われたら嬉しいから、頑張れたそうです。

**この3ヶ月間、自分が変わることで、
家族や周囲の人へも影響を
与えられているんだということを実感しました。**

合宿生のみなさんが頑張っていることが励みになり、投稿やコメントで多くのことを学ばせていただきました。

本当に有意義な時間をありがとうございました。

== ここまで ==

>何かやりたいことがあっても、「時間が無い」
>「子供がいるから無理」「私には出来そうにない」など、
>色んな出来ない理由をつけては、やる前から諦めたり、
>先送りしていたりという感じでした。

自分自身に対して、許可が出せていない状態だったのが、
3ヶ月後には…

>小さな一歩でも出来た自分を認めてあげること、
>褒めてあげることが出来るようになったからだと思います。
>今までの自分にはそんなことしてあげたことなんてなかったですし、
>そういう発想にもなりませんでした。

と、自分を認め、自分を褒め、
自分が変わることに對して許可を出すことができ、
母親であるご本人が変わることによって、
文の最後にあるように、お子さまも変化されたのです。

また、この訓練を積み重ねると、
相手の話を聞いているときに
その人の直接言葉に出ていない本音を感じること
もできるようになります。

高校の教員の山田雄太さんの事例です。

== ここから ==

今日は2年生のマネージャーの様子がいつもと違った。
ノートを持ってコート脇に立って何やらメモを取っている。

この生徒、去年は選手だったが、膝の靭帯を断裂する大怪我をして
選手としてプレーすることを断念し、今年からマネージャーになった。

ハンドボールは中学生の時から経験しているため、経験値は高い。

練習後に話を聞くと、私がルーズリーフのバインダーを持っていて
気付いたことをメモしているのを見て、マネしようと思ったらしい。

ノートを見せてもらおうと、気付いたことがビッシリ書かれていた。

生徒は自分の行動を見ている、ということを実感した部活だった。

今日は iPad で撮影した映像をもとにマネージャーが解説してミーティングをするという場面も見られた。

練習後にマネージャーと話をした。

「2ヶ月間マネージャーをしてみてどうか？」と質問すると、「客観的に見るのも学びがあって楽しいかもと思っています」と答えが返ってきた。

生徒の表情と「かも」という語尾の2文字が引っかかったので、「そうじゃない時もあるの？」と聴き返したところ、泣きながら、「本当はコートに立ってプレーしたい」と本当の思いを話してくれたので、「接触がないようなメニューは一緒にやってみては？」と助言した。

ただし、ここから先を決めるのは生徒自身なので、見守る。

== ここまで ==

子どもたちが自分のことを話さなくなったと言われている現代。

でも、実は話しているんです。

子どもたちは、それに気づいてくれるのを待っているんです。

> 「客観的に見るのも学びがあって楽しいかもと思っています」

>と答えが返ってきた。

>生徒の表情と「かも」という語尾の2文字が引っかかった

山田さんの生徒をよく観察し、生徒の話を
一字一句聞き逃さないように聞く姿勢によって、
山田さんとマネージャーとの間に

【安心・安全・ポジティブな場】ができあがり、
マネージャーの胸の内に秘めた思いを引き出したのです。

自分自身の無意識の言葉使いを変えていく過程で、
相手が発する言葉に対しても敏感になり、
たった2文字に隠された胸の内を察することも
できるようになります。

相手の気持ちを察することができるようになると、
その気持ちに沿った言葉がけができるようになり、
相手との信頼関係をより深めていくことができます。

ここまで挙げた事例はほんの一部です。

参加された方々が、毎日、文字量を意識して、思考を文字化し、
その使っている言葉の癖を知り、改善することによって、
自分自身に許可する変化を出し、人生を変えていっています。

努力は必ず報われる、と、元AKBの高橋みなみが
総選挙のたびに言っていましたが、
ボクもそう信じています。

しかし、せっかくの努力も、

自分自身が変化することを無意識のうちに
否定しては、報われるものも報われないのです。

変わりたいと思って頑張っているのに、
無意識のうちに変化を否定していることに
気づいていない人が、たくさんいらっしゃいます。

そんな人に気付きを与えるのも、
ボクに与えられている役割のひとつだと確信し、
このお手紙を書かせていただきました。

この長いお手紙をここまで読んで下さる
頑張り屋さんのあなたです。

ぜひ、文字化力強化合宿にご参加いただき、
ご自身を、そして関わるまわりの方々を良き方向へ
導いていただく存在になっていただけたら嬉しいです。

文字化力強化合宿の要項は以下になります。

☆文字化力強化合宿11期

日時：11月28日(月)～3月5日(日)(予定)

定員：5名(残席2名)

※ Facebook のグループページを使った通信講座です。

インターネットに繋がるパソコンやスマホがあれば、
受講可能です。

これまでの受講生が体験してきたように、
毎日こちらから出すお題に対して、

回答して下さったものすべてに対してコメントを入れていきます。

このコメントでのやり取りを通じて、
回答に現れているあなたの思考の癖や文章の書き方などを
細かく指摘していきます。

この指摘の繰り返しによって、これまで見えていなかった
ご自身の価値を発見できたり、過去に対する捉え方が変わったりして、
参加者ご自身が自らの力で成長されていきます。

参加者が稲だとしたら、文字化力強化合宿というコミュニティはあなたという
稲を実らせるための土壌であり、お題やコメントは水です。

同期のメンバーは光であり、
そしてボクの役割は、参加してくれたあなたという
稲を豊かに実らせる環境づくりです。

確実にあなたの才能や価値が、花開く環境を整えております。

そして、その環境の効果は、
過去の受講者のご感想が証明してくれています。

募集人数は、5名、多くても7名にします。
(このPDFをご覧の時点では残り2名です)

なぜ5名限定かという、人数が多くなってしまうと、
お互いの投稿を見切れないためです。

この合宿の特徴のひとつとして、同じお題に対し、
仲間の投稿、そして、それに対するボクのコメントを見ることで、
価値観の幅を広げることができますが、

人数が増えすぎると、見るだけでも負担になってしまい、コメントのやり取りも少なくなってしまう。

初回は20名で行っていましたが、最後に出てきた反省として、ご参加者の多くが、他の人の投稿を見切れなかったというのがありました。

そこで、今回は5名という少人数で開催します。
(このPDFをご覧の時点では残り2名です)

5名でお互いの投稿にコメントを入れ合い、お互いの成長を促進させていきます。

さて、気になる参加費ですが、通常、ボクとの個人コンサル契約では月1回の面談で、1ヶ月216,000円(税込)、法人契約で1ヶ月324,000円(税込)をいただいています。

この文字化力強化合宿では3ヶ月、毎日ガッツリと関わっていきますので、参加費は個人契約3ヶ月分と同じ価格の、3ヶ月一括で648,000円(税込)としています。

しかし、この【文字化力強化合宿】の実績をさらに積み上げたいという思いもあるので、今回はモニター価格として、税抜価格から20万円引きの3ヶ月一括で432,000円(税込)とさせていただきます。

(なお、分割払いも承ります。分割払いの適用は、モニター価格である432,000円(税込)の2回~4回での分割払いになります。分割1回につき、10,800円の手数料をいただきます)

過去のご参加者の中には、この合宿で学ばれたことを
ご自身のビジネスに応用され、売上が4倍、8倍に増やされたり、
お勤めされている方でも、毎月の給料が3万円上がったりするなど、
費用対効果としては参加費以上の利益を稼がれた方が何人もいらっしゃいます。

期を重ねるごとにボク自身も成長し、
提供できる価値も上がっているのもので、
每期募集するたびに、正規価格に近づけていっています。

☆文字化力強化合宿11期

日時：11月28日（月）～ 3月5日（日）（予定）
価格：3ヶ月一括で648,000円⇒モニター価格 432,000円（税込）
返金保証：3ヶ月毎日投稿し、変化がなかった場合全額返金。
募集人数：5名（残席2名）

文字化力強化合宿11期の参加はこちらをクリック！
⇒ <http://no1lunch.net/cyfans/cf/mojika11>

（追伸）運命は出会いまで

ボクが取り組んでいた石井裕之さんの教材、
ダイナマイトモチベーションの中で、
「運命は出会いまで」という言葉が出てきます。

出会った後どうするかは、個々の判断に任されます。

気づいていようがいまいが、
肯定しようが否定しようが、
そういう風に、ボクたちはこれまでの人生を歩んできました。

人生が変わる瞬間、それは出会いです。

ひとりの人との出会いが人生を変えることがあるように、
書店さんでたまたま出会った一冊の本が
キッカケで人生が変わることがあります。

だからこそ、目の前にやってくる出会いを
ひとつひとつ大切にしていくと、
自然に人生は開かれていくと、ボクは思っています。

これを読まれているあなたは【この手紙】に出会いました。

【すべての出会いは、今の自分にとって必要だからやってくる】

と、数多くの本で書かれていますし、
成果を出されているたくさんの方が言っていますし、
ボクもそう思います。

だからこそ、この文字化力強化合宿との出会いが、
あなたの人生を変える出会いになる可能性は高いです。

出会いは偶然のように見えて、将来の自分にとっては
すべて必然です。

そして、出会った後、どうするかはあなた次第です。

無意識で自分を認められるようになるために、
誰にも頼らずご自身でやられてもいいし、
他の誰かの力を借りてもいいですし、
文字化力強化合宿に参加していただいて、
ボクがお手伝いすることもできます。

それぞれに、違う人生が待っています。

また、ここまで読んで下さったあなたは、

このままで終わりたくない、
自分には隠れた才能が必ずある、
自信を持った自分になりたい、など、

自分が変わるタイミングが来ていると
感じられていると思います。

マザー・テレサがこんなことを言っています。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。

つまり、思考が変わることで運命が変わるわけです。

ところで、

ボクたちは一日のうちで、
誰の言葉を一番耳にしているのでしょうか??

それは、配偶者でもなければ親でもなければ、
友人でもなければ、会社の上司でもありません。

いつも肌身離れずそばにいる、自分自身の言葉です。

普段はあまり意識しないかもしれませんが、
一番耳にしている言葉は、自分の発言です。

その発言によって、自分という人間が作られていきます。

自分を変えるためには、
まず自分がどんな思考の癖、言葉の癖を
持っているかに気づくことです。

そして、その思考の癖がどうやって作られてきたのか、
そこを掘り下げていくことによって、
自分自身のルーツが見え、
自分を書き換えていくことができます。

ここまで最後まで読んで下さったあなたは、
自分が決めたことをやり抜ける人です。

大丈夫です。

ボクはあなたのその決意と可能性を信じ、
最大限サポートさせていただきます。

そして、ここまで読んで下さり、
参加を決意した人は皆、将来の自分の可能性を信じる
勇気を持っている人たちでした。

その一歩踏み出す勇気が、将来の成功を約束してくれますし、
合宿が終わったあとには、この合宿に参加して
人生を変えた人達と繋がる事ができます。

あなたは出会いました。

そして、変わる人と変わらない人の違いを学ばれました。
あとは自分という稲を実らせるだけです。

文字化力強化合宿第11期の参加はこちらをクリックして下さい。

⇒ <http://hiroyuki.top/cyfans/cf/mojika11>

(クリックできない場合は、お手数ですが、

コピーアンドペーストでURLに直接貼り付けてください。

また、価格や日程など募集要項の詳細はP42にございます)

貴重なお時間を使って、お手紙を読んでもいただき、
本当にありがとうございました。

あなたと直接関われる日を楽しみにしております。

他のご参加者の声もぜひ読んでみてください。

⇒ <http://pmlifect.com/koe.pdf>

文字化力強化合宿主催 横川 裕之